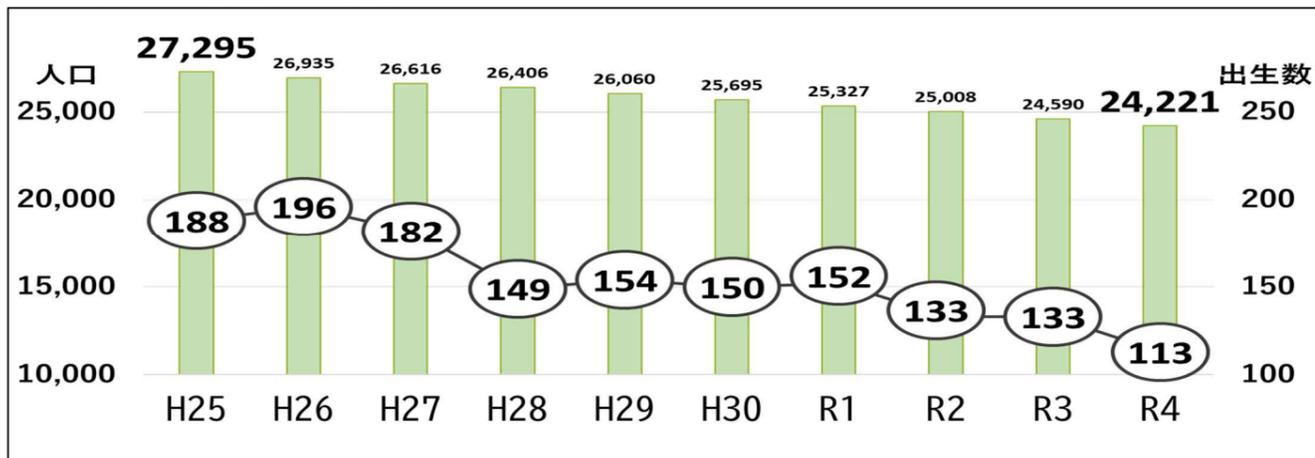


1. 人口と出生数の推移



2. 児童生徒の推移

	2005	2010	2015	2022 (令和4年度)		2028	2040
	平成17年度	平成22年度	平成27年度	級数	児童数	令和10年度	令和22年度
八屋小	270	236	199	12	254	131	88
大村小	39	17	12	6	30	30	18
宇島小	189	206	189	12	212	158	97
角田小	111	86	71	7	63	47	35
山田小	132	120	84	7	75	33	25
千束小	186	239	159	8	164	162	103
三毛門小	293	323	274	10	211	178	104
黒土小	175	153	143	8	123	103	69
横武小	86	77	64	8	59	32	24
合岩小	60	50	59	7	62	18	14
<b>合計</b>	<b>1541</b>	<b>1507</b>	<b>1254</b>	<b>85</b>	<b>1253</b>	<b>892</b>	<b>577</b>

	2005	2010	2015	2022 (令和4年度)		2034	2040
	平成17年度	平成22年度	平成27年度	級数	生徒数	令和16年度	令和22年度
八屋中	230	224	207	8	224	143	116
角田中	68	47	42	4	28	26	21
千束中	300	275	268	8	176	157	135
合岩中	51	40	48	5	44	8	8
<b>合計</b>	<b>649</b>	<b>586</b>	<b>565</b>	<b>25</b>	<b>472</b>	<b>334</b>	<b>280</b>

3. 学校施設の現状

	校舎				
	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)
	西暦	和暦			
八屋小	1978	S53	4,300	41	37
大村小	1987	S62	1,969	32	59
宇島小	1982	S57	3,326	37	68
角田小	1968	S43	1,988	51	40
山田小	1977	S52	1,740	42	37
千束小	2001	H13	2,500	18	100
三毛門小	1984	S59	3,162	35	65
黒土小	1992	H4	2,168	27	67
横武小	1990	H2	1,951	29	62
合岩小	1997	H9	2,504	22	72

	校舎				
	建築年度		延床面積 ㎡	築年数	健全度 (100点満点)
	西暦	和暦			
八屋中	1982	S57	4,607	37	65
角田中	1981	S56	2,033	38	59
千束中	1980	S55	4,386	39	82
合岩中	1982	S57	2,138	37	62

出典：豊前市学校施設長寿命化計画（令和2年3月）

4. 学校規模の適正化に関する経緯

- 令和元年6月 学校規模の適正化に関する検討会議(仮)の設置・協議開始
- 令和元年7月 豊前市教育委員会会議・豊前市総合教育会議において豊前市「教育みらい」検討委員会の設置の承認及び確認
- 令和元年8月～令和2年1月 豊前市「教育みらい」検討委員会 第1回～5回 開催
- 令和2年3月 豊前市「教育みらい」検討委員会 提言書『豊前市の目指すべき教育の姿と学校の在り方』
- 令和3年10月 豊前市 方針『豊前市立学校適正配置基本方針』

豊前市の現状と課題

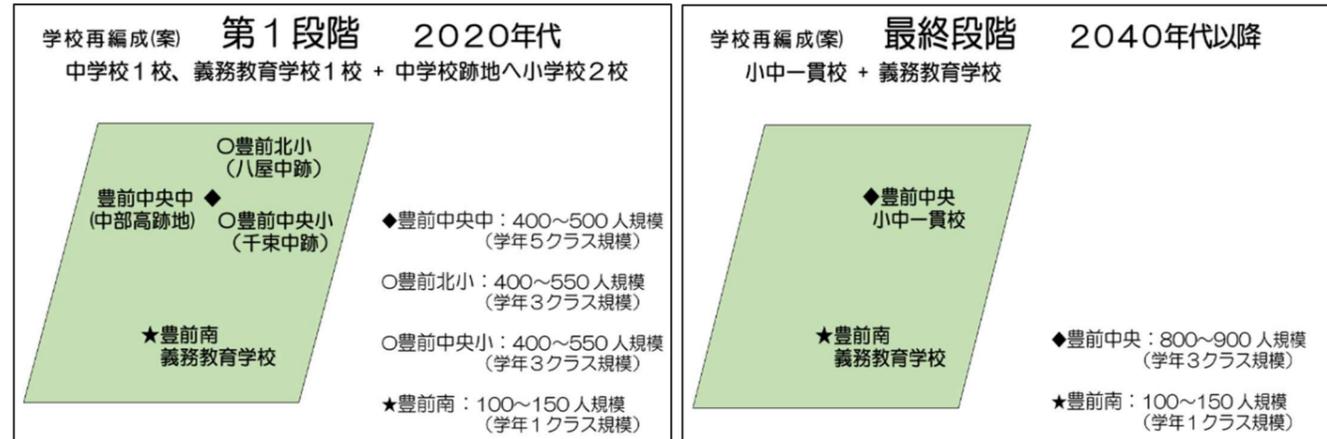
- 現在1学年200名以上いる子ども達が、近年では150名規模となっている状況にどう対応するか
- 建築後30～50年経過している14校すべての校舎等の維持管理また十分な教育条件整備のための予算確保が極めて難しくなっている

これからの目指すべき教育とそのための学校のあり方とは

行きたい・行かせたいと思う『選ばれる学校』京築ナンバーワン・オンリーワン教育の具現化のため **学校規模の適正化・適正配置(学校再編)が必要**

5. 学校規模の適正化・適正配置（学校再編成）

教育委員会において総合的に検討した結果、現在ある小中学校14校の大規模改修を行う前に、第一段階としての再編成を行った上で、さらなる児童生徒数の減少が現実のものとなってきた場合には、最終段階の再編成を行うことを検討するという2段階での適正化が望ましい。



★義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する新しい種類の学校のこと。

〈学校名についてはいずれも仮称〉